

第40回 日立市平和展



日立駅より平和通りをのぞむ
(1957(昭和32)年頃撮影)

太平洋戦争末期の空襲で焼け野原となった旧日立市の市街地では、戦後に戦災復興都市計画事業が始まりました。その中心となったのが、国道6号と移転した日立駅を結ぶ「日立停車場線」で、通りの名称は市民公募によって決められ、最も応募数の多かった「平和通り」が採用されました。

期 間

令和8年8月1日(土)～16日(日)
9:00～18:00

※日立シビックセンター休館日(3日(月)、10日(月))を除き、期間中はご自由にご覧いただけます。

入場
無料

ところ

日立シビックセンター1階ギャラリー

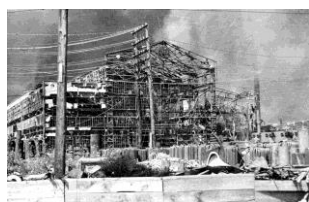
内 容

特別企画

同時開催

1 市内の戦災写真パネルや実物資料の展示

市内の戦災写真や実物資料を通して、戦争の悲惨さや戦時中の暮らし等を紹介します。



1トン爆弾攻撃直後の日立製作所海岸工場変圧器工場 日立製作所電力グループ日立事業所提供

2 平和への思いメッセージウォール作成

来場者の皆様が平和に関するメッセージを貼り付ける参加型コーナーです。



※イメージ

3 戦災体験者による展示案内

戦災体験者が、自身の体験を交えて展示を案内します。

日時 8月15日(土)
12:30～



前回の様子

4 「核兵器と戦争に関する16の問い展」

16の問いかけを通して、核兵器と平和について考えるきっかけとなるポスターを展示します。



主 催 日立市
資料提供 日立市郷土博物館、日本非核宣言自治体協議会
問合せ先 日立市文化・国際課 Tel.050-5528-5062(直通)

又は 0294-22-3111(代表)(内線595)